

未来へつなぐ滋賀文化活動応援事業

事業番号 0528-0034

2021AT ARTS EXHIBITION 浄厳院現代美術展

AT ARTS 代表 西村博喜

浄厳院は、織田信長が安土城の築城とともに伊賀と近江の浄土宗総本山として創建した寺で、本堂をはじめ七つの国指定重要文化財を所有している寺院です。天正7年に浄土宗と日蓮宗との間で安土宗論(安土問答)がおこなわれたことでも有名です。歴史的価値と文化財的価値の両面を持つこの寺の荘厳な空間で、昨年から現代美術の展覧会を行っています。今年も、昨年より規模を大きくし、9名の国内作家と4名の海外作家が展示しました。

テーマは、コロナの終息を夢見て『再会』としました。コロナによって分断された人々の心の疲弊を癒やす芸術との再会を目指しました。



10月23日土曜日から11月7日日曜日まで休み無く、10:00~17:00のあいだ、滋賀県近江八幡市安土町慈恩寺744にある、金勝山浄厳院で現代美術展を行ないました。



チケットは、会期中再入場可能で何度も訪れてもらい、茶会やパフォーマンスにも参加・鑑賞してもらいました。

10月23日土曜日・24日日曜日に裏千家のお茶会を開催し、作品を前にアートの話とお茶を提供しました。



11月3日文化の日には、桂勘 Du Yufang Christopher Fryman による舞踏パフォーマンスを、



11月6日土曜日には、Eri Koo こまきのぞみ による音楽とダンスのパフォーマンスを開催しました。



展覧会では、展示だけでなく見に来た人たちと作品について語るギャラリートークを開催しました。

10月30日土曜日31日日曜日に出品作家によるトークを二日に分けて行いました。

11月3日・6日のパフォーマンスの後にも出演者、出品者を交えてギャラリートークを開催しました。

2021 AT ARTS EXHIBITION 浄巖院現代美術展



西村暢喜 「XXX」



鈴木マヤ子 「МояКухня (私の台所)」



原田要 絵画の庭「千蛇花」

」



小松原智史 「コマノエ」



和田健一



大西健太



佐藤紘子 「おにぎり・食・欲」



勝山信隆



横山栄一 「ぼんのうしゅうちやく仏礼参」



Soon-Young Yang 「Trace of LIFE Shining」



劉鐘局 「The Pumpkin」



Conrad Juscinski 「Positive/Negative」

Jedrzej Hofman 「着物物語」

昨年に引き続き行なったパフォーマンスは、観客の期待も高く多くの集客を得ました。展覧会は512名の観客を集め当初の目標を達成しました。

地元の新聞やテレビ（びわ湖放送・ZTV）や市のインターネット広報を見てのたくさんの方が来られました。

地域に住みながら始めてこの寺を訪れ素晴らしい文化財に触れたという喜びの声、新しい美術の楽しさを実感された笑顔をたくさん頂きました。

来年からもこの展覧会を楽しみにするとのことばを頂き、浄厳院現代美術展が2年目にして地元根ざしてきたことを実感しました。

かつて栄えた町も今ではローカルと成り、総本山として栄えた寺もいまでは末寺となり忘れ去られてきました。この土地でこの寺と共にもう一度、文化的な誇りを取り戻すための展覧会として続けていきたいと考えています。

茶道の盛んな地域でも有り、茶会は観客に喜ばれました。地元住民にとってなじみの薄い現代美術との橋渡しとして有意義な取り組みでした。

ギャラリートークを開催することで観客と芸術について深く話し合えたことは有意義でした。地元の人たちの芸術に対する期待感、寺に対する期待感を受け取りました。

今回のチケットは期間中再入場可能としたため複数回入場される方が友達を誘って来られ、展覧会の輪が広がりました。

来年からは、コロナの状態を見つつレジデンスの再会に向けて取り組んでいきたいと思っています。なお一層地域と共に文化を耕し続ける展覧会として発展していきたい。